

学校名	篠崎第五小学校	対象学年と人数	全学年 336名
活動名	しの五小グリーン・エコプラン		
指導者	学内指導者：清水将大（学校応援団担当）、瀧澤三起子・中山凌輔（4年担任）他 学外支援者：学校応援団（学校農園活動）、山崎進（農園アドバイザー） 重杉浩（ヤゴ観察）		

## 目標

- 学校農園での活動・ヤゴ救出作戦等をとおして、自然や環境に関心をもち、生命尊重や自然愛護、地球環境を大切にす態度及び、様々な活動を支えてくださる方々に感謝する態度を育てる。
- グリーンカーテン・リサイクル活動・井戸水や雨水の活用などを通して、環境保全やリサイクルに対する意識を高める。

## 成果

- 農園の筍堀、田おこし、苗植えから、観察学習、下草とり、間引き、収穫、次年度に向けての土づくり等、農園に1年とおしてかかわることで、自然の素晴らしさ、植物からの恩恵そして、多くの方々に世話になっているからこそ、観察や収穫ができることについて、学ぶことができた。ヤゴについては、専門家を招きヤゴの生態を含め学習し、教室で羽化の様子を実際に観察することができ、よい体験ができた。
- 3Rについて、4年生が環境委員会とともに校内に発信し、全校に広めることで、3Rについて意識した活動が広がった。雨水や井戸水を使った、植物等への水やりにも節水の一環として積極的に取り組めた。
- ツルレイシを育てることで、理科の学習とともに、グリーンカーテンによる涼の学習にも役立った。

## 感想・課題等

### 感想

- 筍堀、田んぼの学習、畑を使った学習等、本校ならではの体験活動であり、保護者からの評判もよい。
- 学校応援団の方の協力がよく、児童の体験学習、教科学習に非常に効果があがっている。

### 課題

- 農園はじめ、各エコ関係の施設には、安全上児童に自由に行き来させることができない場所にあるため、観察や実験の時間設定をすることが必要となる。下草刈りや水やり、肥料の補充等も経験させたいが、そこは学校応援団、主事、担当教員等で補うしかない。
- 作物の生育状況と、天候に左右されることが多く、ゲストティーチャーや保護者を交えての学習の日程調整をスムーズに行うことが課題である。

## 活動報告（活動写真）

- ゴーヤによるグリーンカーテン（4年）：室温を下げる効果と、理科の学習を兼ねています。



グリーンカーテンで覆われる教室は、1階ということもありましたが、空調機の設定温度が他に比べて高かったことが分かりました。

- たけのこ掘り（6年）：竹林があります。たけのこの皮を使って紙漉きを行い、卒業証書を作ります。



- ヤゴ救出（4年）：プールからヤゴを救出します。生き物博士をお呼びして、生き物について学習しました。学習した内容はグループごとに発表し合いました。かえったトンボは、窓から逃がしました。



- 田んぼの学習（5年）：約50m<sup>2</sup>ある田んぼで、稲を育て、収穫し持って帰りました。



井戸水による給水でした。下草狩り、間引き、水量調整、水質管理等、農園アドバイザーの方が細やかな世話と指導をしてくださいました。